

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-28650 (P2020-28650A)

【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-008

【出願番号】特願 2018-157642 (P2018-157642)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 4 日 (2021.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

図柄始動手段に入賞した遊技球を検出する始動入賞検出手段と、
前記始動入賞検出手段が遊技球を検出することに基づいて図柄を変動表示可能な図柄表示手段と、
前記図柄表示手段による変動後の停止図柄が特定態様となった場合に特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、
前記始動入賞検出手段よりも下流側でアウト球を検出するアウト球検出手段と、
前記アウト球検出手段による検出に基づいて、特定期間中におけるアウト個数をカウントする通常アウトカウンタと、
前記始動入賞検出手段を含む入賞検出手段による検出に基づいて、前記特定期間中における特定数をカウントする特定数カウンタと、
前記通常アウトカウンタと前記特定数カウンタとによる各カウント値に基づいて特定値を算出する特定値算出手段とを備え、
前記特定期間は、少なくとも前記図柄表示手段による図柄変動の終了後に、所定の開始条件が満たされた場合に開始し、前記図柄表示手段による図柄変動の終了後に、所定の終了条件が満たされた場合に終了する
遊技機において、
前記特定期間中において、前記終了条件が満たされる前の最後の前記図柄変動を実行する場合には、該図柄変動の変動時間を、前記始動入賞検出手段により検出された遊技球が、その後に前記アウト球検出手段により検出されるまでにかかる第 1 特定時間よりも長い時間に設定し、
前記特定期間中において、前記終了条件が満たされる前の最後の前記図柄変動の所定期間を、前記入賞検出手段により検出された遊技球が、その後に前記アウト球検出手段により検出されるまでにかかる第 2 特定時間よりも短い時間に設定し、
前記所定期間は、図柄確定期間を含み、
前記図柄確定期間中は停止図柄の確定表示を行う
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

パチンコ機等の遊技機では、性能情報の一例としていわゆるベース値を算出し、遊技機裏側に配置した表示装置（性能表示モニタ）に表示する性能表示機能（特許文献１）を搭載することが義務付けられることとなった。このベース値は、アウト個数に対する払い出し個数の比率として算出されるが、ベース値の算出に用いられるアウト個数、払い出し個数（入賞個数）を計数する期間は特定期間、例えば低確率且つ時短無しの期間に限られている。

【手続補正３】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献１】 特開 2 0 1 8 - 0 6 1 8 2 5 号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

本発明は、入賞手段等への入球タイミングとアウト球検出手段による検出タイミングとの間に時間差があるにも拘わらず、算出される性能情報への悪影響を最小限に抑えることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本発明は、図柄始動手段に入賞した遊技球を検出する始動入賞検出手段と、前記始動入賞検出手段が遊技球を検出することに基づいて図柄を変動表示可能な図柄表示手段と、前記図柄表示手段による変動後の停止図柄が特定態様となった場合に特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、前記始動入賞検出手段よりも下流側でアウト球を検出するアウト球検出手段と、前記アウト球検出手段による検出に基づいて、特定期間中におけるアウト個数をカウントする通常アウトカウンタと、前記始動入賞検出手段を含む入賞検出手段による検出に基づいて、前記特定期間中における特定数をカウントする特定数カウンタと、前記通常アウトカウンタと前記特定数カウンタとによる各カウント値に基づいて特定値を算出する特定値算出手段とを備え、前記特定期間は、少なくとも前記図柄表示手段による図柄変動の終了後に、所定の開始条件が満たされた場合に開始し、前記図柄表示手段による図柄変動の終了後に、所定の終了条件が満たされた場合に終了する遊技機において、前記特定期間中において、前記終了条件が満たされる前の最後の前記図柄変動を実行する場合には、該図柄変動の変動時間を、前記始動入賞検出手段により検出された遊技球が、その後前記アウト球検出手段により検出されるまでにかかる第１特定時間よりも長い時間に設定し、前記特定期間中において、前記終了条件が満たされる前の最後の前記図柄変動の所定期間を、前記入賞検出手段により検出された遊技球が、その後前記アウト球検出手段により検出されるまでにかかる第２特定時間よりも短い時間に設定し、前記所定期間は、図柄確定期間を含み、前記図柄確定期間中は停止図柄の確定表示を行うものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、入賞手段等への入球タイミングとアウト球検出手段による検出タイミングとの間に時間差があるにも拘わらず、算出される性能情報への悪影響を最小限に抑えることが可能となる。